

授業科目 教育原理（教育史・教育課程の意義含む）

【担当教員名】 吉田 重和		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	◎	○	
【概要・一般目標：GI0】 本講義は、受講者が、教育の基本原則について理解を深めることを目標とする。「教育とは何か」「なぜ学校へ行くのか」。本講義では、これらの問いに対する答えを探るべく、教育の史的展開や思想的変遷を中心に、教育（及び教育機関）を取り巻く様々な事象を網羅的に取り扱っていききたい。					
【学習目標】 1. 「教育とは何か」について考察することの意義を理解する。 2. 我が国および諸外国における教育の思想と歴史について概観する。 3. 教育課程の意義とその編成について知る。 4. 今日的な教育の課題と教師に求められる力量の変化について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション／教育の目的と本質			1	講義
2	教育と人間の成長・発達			1	講義
3	社会の変動と教育			2	講義
4	日本の教育—歴史と展開			2	講義
5	世界の教育—歴史と展望			2	講義
6	日本の教育制度と行政			2	講義
7	主要国の学校制度と教育改革			2	講義
8	学校と教師			3,4	講義
9	教育の内容と教育課程			3,4	講義
10	教育の方法と技術			3,4	講義
11	道徳教育・特別活動の原理と方法			3,4	講義
12	総合的な学習の時間・外国語活動の原理と方法			3,4	講義
13	生徒指導と教育相談・キャリア教育と進路相談			3,4	講義
14	特別支援教育の原理と方法			3,4	講義
15	まとめ			1, 2, 3, 4	まとめ
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		最新教育原理	安彦 忠彦、石堂 常世	勁草書房	2010・2,200円＋税
その他の資料		必要に応じてプリントを配布			
【評価方法】 平素の学習状況（出席状況、授業態度、ワークシートや小レポートの内容／40％程度）及び定期試験の結果（60％程度）を総合的に判断して評価する。			【履修上の留意点】		